

## 茨城県信用保証協会

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

|           |   |              |                          |        |
|-----------|---|--------------|--------------------------|--------|
| 代表者名      | 会長 根本 榮一(常勤)  | 県所管部課        | 商工労働部 産業政策課              |        |
| 所在地       | 水戸市桜川2-2-35 県産業会館内  | 電話番号         | 029-224-7811             |        |
| ホームページURL | http://www9.ocn.ne.jp/~ibasinpo/  | E-mailアドレス   | icg2235a@abeam.ocn.ne.jp |        |
| 資本金(基本財産) | 23,146,768 千円   | 設立年月日        | 昭和24年12月4日               |        |
| 主な出資者     | 出資順位  | 出資者名         | 出資額                      | 出資比率   |
|           | 1   | 基金準備金(自己造成分) | 14,649,203 千円            | 63.3 % |
|           | 2   | 茨城県          | 4,113,557 千円             | 17.8 % |
|           | 3   | 常陽銀行         | 761,368 千円               | 3.3 %  |
|           | 4   | 茨城県信用組合      | 497,590 千円               | 2.1 %  |
|           | 5   | 関東つくば銀行      | 315,010 千円               | 1.4 %  |
|           | その他   | 131 団体       | 2,810,040 千円             | 12.1 % |
| 設立的       | <p>事業の維持、創造発展に努める中小企業者に対して、公的機関として、その将来性と経営手腕を適正に評価することにより、企業の信用を創造し、「信用保証」を通じて、金融の円滑化を図ることを目的としている。</p> <p>中小企業金融対策における信用保証協会の機能拡大とその役割が拡充強化される中で、十分な機能発揮の裏づけとなる基本財産等の充実のため、県・市町村・金融機関から財政支援を受け、さらには緊密な連携を取りながら中小企業の経営基盤の強化に寄与し、もって中小企業の振興と地域経済の活力ある発展に貢献している。</p> |              |                          |        |

[事業の概要]

| 事業名      | 平成17年度事業費    | 内容  |
|----------|--------------|---|
| 事業1 信用保証 | 5,507,017 千円 | 中小企業者等が銀行その他の金融機関から資金の貸付、手形の割引または給付を受けること等により金融機関に対して負担する債務の保証及びこれに付随する業務。<br>信用保証協会が公的な保証人になることにより、中小企業者に対する金融の円滑化を図り、県内中小企業者の育成・発展と、県内経済の成長発展に貢献している。 |
| 事業2      | 千円           |   |
| 事業3      | 千円           |   |

[組織]

| 7月1日現在の人数   | 平成15年 |     |     | 平成16年 |     |        | 平成17年  |     |   |
|-------------|-------|-----|-----|-------|-----|--------|--------|-----|---|
|             | 県派遣   | 県OB |     | 県派遣   | 県OB |        | 県派遣    | 県OB |   |
| 役員          | 常勤理事  | 4   | 2   | 4     | 2   |        | 4      | 2   |   |
|             | 非常勤理事 | 11  |     | 11    |     |        | 11     |     |   |
|             | 常勤監事  |     |     | 1     |     |        | 1      |     |   |
|             | 非常勤監事 | 4   |     | 3     |     |        | 3      |     |   |
|             | 計     | 19  | 0   | 2     | 19  | 0      | 2      | 19  | 0 |
| 職員          | 管理職   | 32  |     | 33    |     |        | 31     |     |   |
|             | 一般職   | 66  |     | 61    |     |        | 59     |     |   |
|             | 臨時職員  | 8   |     | 8     |     |        | 7      |     |   |
|             | 嘱託職員  | 13  |     | 16    |     |        | 21     |     |   |
|             | 計     | 119 | 0   | 0     | 118 | 0      | 0      | 118 | 0 |
| 当期常勤職員の年齢構成 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代以上 | 合計  | 平均年齢   | 平均勤続年数 |     |   |
|             | 24    | 18  | 21  | 27    | 90  | 40歳11月 | 18年09月 |     |   |

## [収支の状況]

茨城県信用保証協会

(単位:千円)

| 区 分                   |            | 平成14年度      | 平成15年度      | 平成16年度      |
|-----------------------|------------|-------------|-------------|-------------|
| 収<br>支<br>の<br>状<br>況 | 収入合計       | 33,714,895  | 29,861,611  | 28,629,161  |
|                       | 事業収入       | 6,479,040   | 6,879,694   | 7,816,244   |
|                       | 事業外収入      | 27,235,855  | 22,981,917  | 20,812,917  |
|                       | 支出合計       | 33,682,778  | 29,819,878  | 27,987,491  |
|                       | 事業支出       | 3,941,987   | 4,157,925   | 4,765,903   |
|                       | 事業外支出      | 29,740,791  | 25,661,953  | 23,221,588  |
|                       | うち管理費      | 1,570,145   | 1,585,487   | 1,571,423   |
|                       | うち人件費      | 1,067,240   | 1,007,990   | 957,244     |
|                       | 当期収支差額     | 32,117      | 41,733      | 641,670     |
|                       | 正味財産増加額    | 289,250     | 321,917     | 286,961     |
|                       | 正味財産減少額    | 985,764     | 977,833     | 942,680     |
|                       | 当期正味財産増減額  | -664,397    | -614,183    | -14,049     |
|                       | 前期繰越正味財産   | 30,292,397  | 29,628,000  | 29,013,817  |
| 期末正味財産                | 29,628,000 | 29,013,817  | 28,999,768  |             |
| 財<br>産<br>の<br>状<br>況 | 資産         | 725,783,248 | 722,552,015 | 768,215,928 |
|                       | 流動資産       | 47,946,929  | 49,705,366  | 52,597,587  |
|                       | 固定資産       | 677,836,319 | 672,846,649 | 715,618,341 |
|                       | 負債         | 696,155,248 | 693,538,197 | 739,216,160 |
|                       | 流動負債       | 0           | 0           | 0           |
|                       | うち短期借入金    | 0           | 0           | 0           |
|                       | 固定負債       | 696,155,248 | 693,538,197 | 739,216,160 |
|                       | うち長期借入金    | 9,102,000   | 9,191,000   | 9,015,000   |
|                       | 正味財産       | 29,628,000  | 29,013,818  | 28,999,768  |

## [財的関与の状況]

(単位:千円)

| 区 分                        |             | 平成14年度  | 平成15年度  | 平成16年度  |
|----------------------------|-------------|---------|---------|---------|
| 財<br>的<br>関<br>与<br>状<br>況 | 補助金         | 138,380 | 138,300 | 146,422 |
|                            | 委託金         |         |         |         |
|                            | 貸付金         |         |         |         |
|                            | 計           | 138,380 | 138,300 | 146,422 |
|                            | 財政的関与の割合(%) | 0%      | 0%      | 1%      |
|                            | 損失補償・債務保証   | 247,069 | 272,468 | 262,056 |

## [平成16年度の補助金等の目的・内容等]

| 支 出 項 目 | 目 的 ・ 内 容 ・ 効 果  |
|---------|--|
| 補助金     | 県が行っている中小企業者向け融資制度の中で、中小企業者の利用負担の軽減が特に必要である制度について、中小企業者が茨城県信用保証協会の保証を受ける際に徴収される信用保証料の一部を補助することにより、中小企業者の実質的負担の軽減を図る。 |
| 委託金     |  |
| 貸付金     |  |

[評点集計]

| 評価の視点    | 評価項目数 | 評点 | 満点 | 得点率    |
|----------|-------|----|----|--------|
| 計画性      | 4     | 8  | 8  | 100.0% |
| 目的適合性    | 5     | 13 | 14 | 92.9%  |
| 組織運営の適正性 | 4     | 6  | 8  | 75.0%  |
| 健全性      | 11    | 16 | 40 | 40.0%  |
| 効率性      | 8     | 0  | 28 | 0.0%   |
| 合計       | 32    | 43 | 98 | 43.9%  |

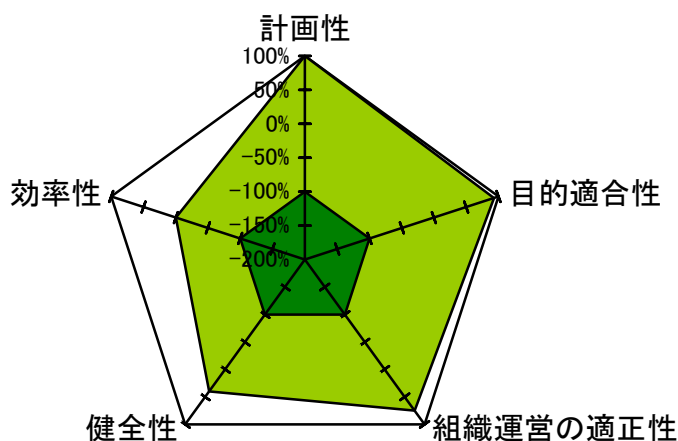
公益法人会計用

茨城県信用保証協会

警戒指標

|  |
|--|
|  |
|--|

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

|          |   |
|----------|---|
| 計画性      | 経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか           |
| 目的適合性    | 法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか                      |
| 組織運営の適正性 | 組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か |
| 健全性      | 法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか                |
| 効率性      | 組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか               |

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

| 計画性   | 目的適合性  | 組織運営の適正性   | 健全性  | 効率性   |
|---|--|--|--|---|
| 保証計画は経済環境等の外的要因に左右されるため、多少の相違が生じることもあるが、中小企業にとって有利な制度は積極的にPRするとともに、金融機関への働きかけもしている。<br>回収計画については、計画通りでない場合逐次協議し、具体策を実行している。年次計画は、漏れのないように四半期毎にチェックしている。 | 当協会は、信用保証機能をもって中小企業金融の円滑化を図ることによって、国内事業所の99%以上を占める中小企業者の健全な育成という役割を果たす使命を担っている。<br>現に、当協会を利用している企業は県内中小企業の3分の1を占め、十分に機能を発揮している。  | 効率的な運営に心掛け、増大する業務に対処している。<br>情報公開規定は、いずれ作成したいと考えている。 | 当協会の経常収入は、主に保証料収入及び自己資金の運用益であるが、昨今の超低金利により、運用収入は依然として低水準にある。<br>このような中で、運用収入を少しでも上げるため、専門の部署が安全かつ有利な金融商品の情報収集に努めている。 | 厳しい経営環境を乗り切るため、職員給与のカットや計画的な職員数の削減等、人件費削減を断行している。<br>また、予算と比較しながら毎月無駄な出費をチェックし、管理費削減に努めている。 |
| 今後の事業展開の方向  | <p>景況については、企業部門の好調さが持続する中で、景気回復は底堅く推移するものと思われるが、一方で、在庫調整の動きや原油価格の動向等には、予断を許さない状況下であり、中小企業を取り巻く経営環境には、その足取りの重さから、今後とも留意していく必要がある。</p> <p>このような中で、保証協会としては、政府の施策に呼応しつつ、中小企業の資金繰りが円滑に行えるよう、中小企業との密接なリレーションシップを築きながら、各金融機関と連携して、総力を上げて中小企業の支援に取り組んでいきたい。</p> <p>協会内においては、更なる審査体制の充実と迅速化を図り、企業担当制によるきめ細かな審査及び指導を行うとともに、業況厳しく苦しい状況にある企業に対しては、企業支援課を創設し積極的な再生支援にも取り組んでいる。</p> <p>これらの業務を着実に推進していくためには、事務の合理化と効率化を引き続き推し進めることが必要であり、徹底した事務の見直しを行い経費削減に努めている。</p> <p>当協会は、企業社会や地域社会の中で、地域の活性化を主導するリーディングカンパニーを育成するという一段高いステージを求め、中小企業に対する金融の円滑化を通じ、豊かな地域社会の創造に貢献していきたい。</p> |  |  |   |

[法人を担当する課の意見]

| 計画性                                  | 目的適合性  | 組織運営の適正性  | 健全性   | 効率性  |
|--------------------------------------|--|---|---|--|
| 年次計画及び中・長期的な計画を策定したうえで信用保証業務を推進している。 | 中小企業の信用を補完する機関として、前年を上回る保証を行うなど積極的に保証需要に対応し、中小企業の金融円滑化に寄与している。   | 早期回収の促進や適正な保証審査を行うための組織を整備するなど、状況に応じた組織運営をしている。 | 人件費削減のため計画的に職員数を削減するなど経費削減に取り組み、経営の健全化に努めている。 | 審査体制の充実と迅速化を図るための審査支援システムや企業支援の強化を図るための期中管理支援システムの有効活用するなど、保証業務の効率化に努めている。 |
| 第三次行財政改革大綱に係る取組状況                    | 推進事項   |   | 取組み状況   |  |
|                                      |  |   |   |  |
| 法人担当課の意見                             | 審査体制の充実等による積極的な取り組みにより保証承諾の増加や求償権回収の向上が図られ、平成16年度の収支は大幅に改善された。また、人件費削減など経費削減や保証審査支援システムをはじめとする各種システムの活用など、継続して経営の健全性や効率性に努めていることから、今後とも中小企業への支援がなお一層図られるよう指導してまいりたい。 |   |   |  |

[総合評価]

|             |  |
|-------------|--|
| 取組みを強化すべき視点 | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">効率性</div> </div> |
| 総合的所見等      | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 5px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div>   |
|             | 保証審査支援システムや金融機関との提携保証制度の導入、企業支援のための組織の整備など利用者の要請に応える体制を整備するとともに、求償権回収への積極的な取り組みは評価できる。<br>引き続き、利用者の要請を確実に掴み、金融機関や関係機関等との連携のもと、各種制度や組織体制の見直しに努め、中小企業の金融円滑化に寄与されたい。  |
| 総合的所見等に係る対応 | 保証審査支援システムをはじめとする各種システムの積極的な活用による業務の効率化を図る一方で、企業面談のほか、商工関係団体や金融機関等との連携により、常に中小企業者の現状把握や情報収集に努め、積極的な保証に取り組んでいる。<br>県としてはこれらの体制を維持拡充するためにも、基本財産の造成を図るとともに、各種制度の拡充や組織強化がなされることにより中小企業の支援が一層拡充されるよう指導していく。   |

< 茨城県信用保証協会

から県民のみなさまへ >

地域経済の回復をより本格的なものとしていくためには、中小企業の活性化を図ることが不可欠であります。私たちは、金融機関との強い連携のもと、国及び地方自治体の施策に呼应しながら、企業とのリレーションシップの構築を一層進め、総力をあげて中小企業の発展を支援してまいります。

平成18年2月 会長 根本 榮一